



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功  
副会長 舟田 正夫  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一  
ブリテン 高田 一彦  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

今村 讚

子たちよ言葉や口先だけではなく行いをもって  
誠実に愛し合おう

ヨハネ第一の手紙3章18節

に従っていけばおおむねどこでもたどり着けるでしょう。

ただ、我が家では、父が、「そんな道を覚えなくなるようなものは使わない」という強い信念があり、昨年、新車に買い換えるまで、カーナビがありませんでした。

私も、それを受け継ぎ、レンタカーで付いてくるものを除き、いまだにカーナビは使わず、紙の道路地図で全国対応しています(ただ、細かな場所については、ときにはタブレットの地図も頼りますが・・・)。

紙の地図はもちろん、カーナビであっても、新しい道路については当然には対応していません。これについては、現地で案内標識を頼りに行くか、カーナビが示す旧道に行くかということが多いと思います。カーナビがない方が、案内標識と勘だけで未知の道路にその場で対応する力が磨かれるような気がします。

今年最大の新しい道路といえば、圏央道(境古河インター～つくば中央インター)の開通です。これで、茅ヶ崎から成田市まで、環状道路が全通しました。

生きているうちには完成しないのではと思っていましたが、ほぼ全区間でつながり、歴史が変わりました。横浜では、第三京浜と横羽線を結ぶ横浜北線が、3月に開通します。

あと関東で特筆すべきは、群馬県の上武道路(国道17号バイパス)の全通です。前橋市内に中途半端に未開通な部分があり、その道路にたどり着くのに一苦労・・・という感じでしたが、これも歴史が変わります。もともと群馬県内でオリエンテーリングをした帰りなどによく使っていた道です。

真冬は、路面凍結が怖いので、基本的に遠出しません。ゴールデンウィーク以降、暖かくなってくれば、また国道走破旅行に行こうと思います。

### ひとこと

#### 初めての「今月の一言」

齋藤 宙也



今年もよろしくお願ひ申し上げます。  
初めて、「今月の一言」の担当になりました。

何を書いたらよいものか・・・と思いましたが、法律プロパーでは余りにワイズと離れますし、政治と接近させる内容になっ

てしまい、ワイズメンズクラブの趣旨に反してしまうという制約がありました。

仕事の話は今年の抱負で書かせていただきましたのでそれもなし・・・ということで、国道に限りませんが、無難なところで、道路の話にしようと思います。

横浜クラブの皆さんは、自動車で移動される方が多いようです。毎日あるいは定期的に通る道ならよいでしょうが、未知の場所に車で行く際は、未知の道路を通ることになります。最近では、ほぼ全ての自動車にカーナビがあるため、その案内

## <2017年2月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
19名 (功労 会員1 名を含 む)	メソ 9名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 11名	61 % (メーキャップ 2名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

## <3月の行事予定>

### 強調月間【BF、メネット】

日	曜	時間	行事内容	場所
4-5	土		次期会長・部役員研修会	東山荘
7	火	19:00	第76回Y-Y協議会	中央Y
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y
25	土	13:30	鎌倉クラブ創立25周年記念例会	鎌倉社会 福祉会館

## 「2月第一例会・横浜YMCA会員大会報告」

高田 一彦

2月11日(土・休)午前10時から午後3時半まで、湘南とつかYMCAにて「平和の花を咲かせよう」のテーマのもとに横浜YMCA会員大会が開催された。基調講演は、ベトナムからの「難民としての私の体験をもとに」と題してトルオン・ティ・トゥイ・チャン女史の体験談が生き生きと語られた。サイゴン陥落の後に、ベトナムを小さな船で脱出し、ボートピープルとして日本に来るまでの生死をさまよう一家の苦勞から、日本に定住してからの様々の異文化体験による戸惑いなどを話された。主題の「平和の花を咲かせよう」は、チャン女史が、初めて日本の地に立った時に、父親が公園に連れて行ってきて、きれいな花壇の花をさして「ここには、きれいな花と目に見えない平和があるんだよ」といつてくれたことが何時までも私の胸に残っていると結ばれた。

12時から13時までには404教室で開催された2月度の第一例会は、金子会長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、今月の聖句に続いてのビジネス中心となった。

まずは、会員大会に参加されていた澁龍一氏(元関内クラブメンバー)を金子会長がゲストとして紹介した。ビジネスの内容は次の通り。

### ・部長沖繩公式訪問

金子会長が参加し、18日(土)は、沖繩クラブと京都トウビークラブのDBC締結式に出席した後、沖繩YMCAにての沖繩那覇クラブの例会に出席予定。

### ・第4回日本語スピーチコンテスト(2月24日)

古賀ワイズと齋藤ワイズが審査員を務めるが、午後1時に全員集合する。

### ・次期部役員・クラブ会長研修会

3月4日～5日(東山荘)舟田次期会長、金子次期部長、松島次期部書記、伊藤次期部会計、大高地域事業主査が

参加予定。

### ・次期クラブ役員の最終確認

舟田会長、伊藤書記、古田会計、大高地域奉仕、遠藤国際・交流、古賀会員増強、齋藤ユースが正式に任命された。

### ・富士山YMCA10周年記念事業募金について第2例会で検討する。

### ・横浜クラブ一泊研修会について5月26～27日を仮予約とした。

ハッピーバースデーは、青木、伊藤、大高ワイズの3名であった。

午後からの会員大会プログラムでは、久保ワイズ(つづきクラブ)の主導で、うたごえ広場が開催され、大会のテーマである「花」に因んだ合唱が展開された。その後、ユースの発表「バンクーバーYMCAユースピースネットワーク報告」等があり、3時半に大会の幕を閉じた。出席者：青木、伊藤、メ、遠藤、大高、金子、古賀、齋藤、高田、古田、ゲスト：澁龍一氏(元関内クラブ)



会員大会参加者

## 「湘南沖繩部長沖繩公式訪問報告」

金子 功

今年度の部長沖繩公式訪問は2月18日(土)～19日(日)に実施された。前日までの春一番の強風の影響もなく好天に恵まれての沖繩訪問。Yトラベル提案の旅程を参考に現地集合で湘南地区からは若木部長、メネットの他総勢8名が参加した。

プログラムは18日(土)、16:30からダイワロイネット沖繩県庁前ホテルでの沖繩クラブの例会で始まった。今回の部長訪問を契機に、沖繩クラブは、京都ToBeワイズメンズクラブとの「DBC調印に向けた確認書調印式」を提案、そのために京都ToBeクラブからも10名以上のメンバーが参加したほか、西日本区の森田美津子国際・交流主任、並び



DBC締結式の沖繩クラブ例会



に東日本区の菊池弘生会員増強主任が参加しそれぞれ祝辞を述べた。両クラブの正式な調印式は8月26日に予定している京都 ToBe クラブの20周年記念例会の席で行われるとのことである。その後行われた懇親会には、湘南地区からのメンバーは失礼し18:30から沖縄YMCA会館で行われた沖縄那覇クラブの例会に移動した。

知念一郎沖縄YMCA理事長による奨励はYMCAのシンボルマークの中に刻まれた聖句「John 17:21」（ヨハネによる福音書17章21節）の意味を解説するもので、みんなが一つになることの大切さを示唆するものであった。

記念撮影の後は大森節子ワイズによる食前の感謝、また、参加者の最長老である横浜とつかクラブの加藤利榮ワイズによる乾杯の音頭で始まった懇親会であった。手づくりのもずく、ゴーヤの天ぷら、豚の耳の和え物等地元の馳走に舌づつみを打ちながら楽しいひと時を過ごした。食事の合間には、屋良政且ワイズが自宅の鳳凰木から採取したという鞆状の実で造った沖縄ならではの加工品がオークションとして紹介されチャリティー募金の一助となった。

翌19（日）は特別エクスカージョンと称して呉屋さん、屋良さん仕立ての観光案内であった。数年前に湘南・沖縄部の各クラブも協力して購入した沖縄YMCAのミニバスで那覇市内から糸満市に及ぶ沖縄の歴史を学ぶ観光であった。対馬丸が撃沈された事件を今に伝える記念館では説明文が読めないほどの涙があふれ平和の想いをより一層強めた。

お世話になった沖縄、又沖縄那覇クラブの皆さまに感謝しつつ、来年は部長として再度訪問することを約束して沖縄に別れを告げた。

湘南地区からの参加者10名（横浜1、鎌倉2、とつか3、厚木2、八景1、つづき1）

## 「第4回日本語スピーチコンテスト報告」

古田 和彦

横浜YMCA学院専門学校日本語科との共催事業である「日本語スピーチコンテスト」も第4回を迎えた。この企てが定着し、横浜YMCAにとっても、わがクラブにとっても意味のあるプログラムとなっていることにまずは感謝したい。

2月24日（金）13:30から9階チャペルで開始。全体司会は日本語科の安富由起子さん。まずは、当クラブ金子会長と田口総主事があいさつ。国際理解としても大変意味のあるプログラムであることが述べられた。続いて、審査員5名の紹介。当クラブの古賀健一郎ワイズ、齋藤宙也ワイズの

ほか、神奈川県青年国際交流機構事務局次長の梅本真理子さん、YC Jサポーターの和田登志子さん、恵泉女学園大学人文学部教授の秋元美晴さんの5名が紹介された。昨年までの反省もあり、若い人・女性中心の審査員となった。

審査方法の説明の後、いよいよスピーチの開始。10名のスピーカーが休憩をはさんで一人5分の持ち時間でスピーチした。スピーカーの国・地域は台湾2名、中国2名、タイ2名、韓国、ヴェトナム、ネパール、ブルネイ各1名だった。

学んでいる学校も、横浜YMCA学院生徒が7名で、そのほか、在日本韓国YMCAのYMCA東京日本語学校、東京YMCA日本語学院、厚木のYMCA健康福祉専門学校日本語科からそれぞれ1名と4校からの参加となった。それぞれ短い滞日期間にもかかわらず、流暢な日本語で日本の良いところや気になるところを自国と比較したり、個人としての意見を述べてくれた。質問にも的確に答えており、日本語力がしっかりとしていることがよく見て取れた。

審査の結果、最優秀賞には「夢山」と題して将来の自分の夢を具体的に語った、ネパールからの留学生、ライ・スリジヤさんとなった。優秀賞は「夢に向かって」の台湾の郭乃嘉さんだった。横浜YMCA専門学校の生井校長の挨拶でコンテストをいったん閉じ、別室で古田ワイズの司会で交流会。最優秀賞以下全員に金子会長から賞状と賞金・参加賞を渡し、全体講評、上位4名の受賞者の挨拶、懇談ののち、高田ワイズの挨拶で16:15終了した。今年から（株）共立メンテナンスさんが協賛に加わり、ホテル宿泊券を提供くださったほか、全体講評を審査員でもある恵泉女学園大学の秋元教授がしてくださるなど、支援の輪が広がっていることはうれしいことであった。全体の参加者は約80名。

当クラブの参加者：伊藤メネ、大高、金子メン・メネ、古賀、齋藤、高田、田口、古田の9名。

## 「鎌倉市内の中学校で出前授業に協力・参加」

舟田 正夫



2月24日午前9時55分から11時55分まで鎌倉市立御成中学校でJICA研修員12名による出前授業に参加しました。JICA研修員12名はアフリカのモーリシャス、ケニア、ウガンダ、セネガル、ナイジェリア、モロッコ、エジプト、それにアフガニスタン、インドからの20～30代の男性9名と女性3名でした。彼らはみな日本の大学で勉強中の頭脳明晰な男女で、流暢な英語で出身国の説明を120名の中学3年生にしてくれました。

この中学校では昨年も同じような行事をしました。その時は4人の外国からの留学生に参加してもらい、彼らを鎌倉への外国人旅行者とみなして、中学校2年生がクラスの中でこれら外国人旅行者に鎌倉の観光名所を案内しました。この2年生が今年は3年生となり、多忙な卒業直前にこのような国際理解を深める行事を実施したのです。

学校の体育館に6畳のマットを12か所敷き、12名の研修員が民族衣装を着て各6畳のマットの上に座って、10名ずつの生徒のグループに15分ずつ出身国の説明をします。生徒は15分経過すると次の場所へ移り、違った国の説明を



聞きます。生徒のグループが4回移動すると1時間経過し、説明は終了します。生徒たちは4か国の事情がわかります。説明の材料はラップトップCP、写真などです。分からないことがあれば質問も可能です。

JICA研修員による1時間で4か国の説明の後は、同じ6畳のマットの上で10人の生徒たちのグループに各研修員が入って百人一首をして日本の文化に触れてもらいました。今回の行事にはNPO法人シニアボランティア経験を活かす会(SV会)から私を含めて9名の会員が参加しました。私たちはボランティア団体としてお手伝いをさせていただきましたが、12名もの外国からのJICA研修員を取りまとめで参加願った苦労は大変でした。

しかし、結果は大成功で、JICA研修員12名は日本国内で出身国を知ってもらう機会を得たし、生徒120人は外国からの研修員との会話を直にすることが出来たし、また、私たちはその橋渡しが出来たことを喜んでおります。

## 第二例会報告

高田 一彦

日時：2月23日(木) 17:00～18:00  
 場所：横浜中央YMCA 501号室  
 出席者：青木、大高、金子、古賀、高田、古田、(平岡、森田)  
 協議・確認事項

- 1) 行事予定の確認
- 2) スピーチコンテストの最終確認
- 3) 3/4～5 次期部役員・クラブ会長研修会 舟田、金子、松島、伊藤、大高ワイズ参加予定。
- 4) 次期クラブ運営の確認 舟田会長、伊藤書記、古田会計、大高地域奉仕、遠藤国際・交流、古賀会員増強、齋藤ユース、
- 5) 富士山YMCA10周年記念事業献金 森田Yスタッフより、記念事業の趣旨と献金へのアピールがあった。クラブとしては、ファンドからとロバを充てたらとの意見が出された。
- 6) 横浜クラブ泊研修会 5/26～27を仮予約。
- 7) 4月卓話の予定 細田順太郎氏(横浜銀行ブランド・CSR戦略本部事務局長)。
- 8) 3/25 鎌倉クラブ25周年へお祝い金1万円承認。
- 9) 3月号ブリテン寄稿の分担確認

地域支援のために用いられます。

この他にも、熊本地震被災地復興支援募金、被災YMCA復興支援募金、東日本大震災復興支援募金などを行い、被災地での活動を支援しています。このキャンペーンは3月末まで各YMCAで行っております。引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

### ■会員大会の報告

2月11日(土)に「横浜YMCA会員大会」が開催され、408名の方々が集まりました。基調講演のトルオン・ティ・トゥイ・チャンさんからは、「平和の花を咲かせよう」～難民としての私の経験をもとに～をテーマにスライド上映しながらお話いただき、難民について、平和について改めて考える時となりました。参加者からは、「平和のメッセージとして強く心に響くものであった。」「それぞれに多様性を受け入れ平和を生み出すYMCAの働きを感じられるものであった。」との声もいただいております。また、世代を問わず会員が交流し、楽しみ、学び、平和を願う気持ちをついにした大会となりました。今回も、会員大会を実施するにあたり、多くの方にご協力をいただき無事に終えることができました。簡単ですが感謝と報告をさせていただきます。

### 3月例会プログラム

日時：3月9日(木) 18:30～20:30  
 場所：中央YMCA 501号室

司会：今村ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 . . . . . 金子会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . . . 全員
3. 今月の聖句 . . . . . 今村ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 . . . . . 金子会長
5. 食前感謝 . . . . . 今村ワイズ
6. 食事
7. 卓話 「澤田美喜のもう一つの業績、隠れクリスチンの遺物」 堀井明氏 澤田美喜記念館職員
8. ビジネス・報告 . . . . . 金子会長
9. *Happy Birthday* :  
 金子久子(3)、古賀智子(3)、金子功(10)  
 遠藤三起子(10)、高田一彦(22)、古田和彦(22)  
 高杉文代(31)
10. 閉会点鐘 . . . . . 金子会長

例会報告：大高ワイズ



担当主事 青木 一弘

### ■国際・地域協力募金 中間報告

横浜YMCAでは昨年11月から3月まで国際・地域協力募金キャンペーン「笑顔につながる小さな一歩」を行っています。12月末現在、皆様から8,484,710円の温かいお気持ちをいただいております。なお、皆様からお預かりいたしました募金は、タイ、ミャンマー、カンボジアなどの海外のYMCAを通じた支援活動、また神奈川県や国内での

### 4月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)

電話 045-641-5785